



令和 5 年 3 月 20 日
京都府 京丹後市

伊藤忠エネクス株式会社から 企業版ふるさと納税制度を活用した寄附をいただきました

京丹後市(市長: 中山 泰)は、伊藤忠エネクス株式会社様(代表取締役社長: 岡田 賢二)から企業版ふるさと納税制度を通じ、新シルク産業創造事業プロジェクト^{*1}に寄附を賜り、本日令和 5 年 3 月 20 日(月)、同社に感謝状を贈呈しました。同プロジェクトに対する寄附は初めてです。



(写真): 感謝状贈呈式 渡辺 賢 執行役員 産業ビジネス部門 副部門長(左) 中山 泰 京丹後市長(右)

企業版ふるさと納税^{*2}は、国が認定した地域再生計画に位置づけられる地方公共団体の地方創生プロジェクトに対して企業が寄附を行った場合に法人関係税から税額控除する仕組みです。また、税額控除を受けられるだけでなく、本市の事業を支援することを通じて社会課題の解決につながる取組みです。

今回寄附を賜りました伊藤忠エネクス株式会社様は、昭和 36 年に燃料商社として創業され「社会とくらしのパートナー～エネルギーと共に・車と共に・家庭と共に～」を経営理念に掲げ、時代のニーズに合わせたエネルギー供給や環境社会貢献活動の推進などを通じて、持続可能な社会づくりに貢献をされています。

この度いただきました寄附は、当地域の伝統産業である絹織物の継承や絹織物を「核」とした新産業の創出支援に活用させていただきます。

今後も本市は、企業版ふるさと納税を通じて、絹織物業をはじめとする地域の産業振興に努めてまいります。

^{*1} 新シルク産業創造事業プロジェクトとは、日本最大の織物産地として、養蚕から織物及び多様なシルク製品の製造まで一貫した生産体制を構築する取り組みです。絹織物の川上分野にある「養蚕業」に注目するとともに、繭、シルク素材としての機能性に着目した新たな産業の創出や新シルク産業創造館への関連産業の集積により、将来に向けた産業育成を目指しています。

^{*2} 企業版ふるさと納税の制度概要は、内閣府及び京丹後市ホームページをご覧ください。

内閣府ポータルサイト: https://www.chisou.go.jp/tiiki/tiikisaisei/kigyuu_furusato.html

京丹後市ホームページ: <https://www.city.kyotango.lg.jp/top/soshiki/mayoroffice/seisakukikaku/2/15516.html>

本件に関する報道機関の問い合わせ先

京丹後市 市長公室政策企画課ふるさと応援推進室
Tel: 0772-69-0120 / E-mail: kikaku@city.kyotango.lg.jp

《参考資料》

○寄附企業のベネフィット

各事業への支援が社会貢献を通じた寄附企業様のイメージアップや認知力向上にも期待いただけるものになっています。

	10万円～100万円未満	100万円以上	1,000万円以上
感謝状の贈呈	○	○ (※ちりめん素材の賞状)	○ (※ちりめん素材の賞状)
贈呈セレモニー	—	○	○
市HPへの掲載	○	○	○
市広報誌への掲載	○	○	○
プレスリリース	—	○	○
紺綬褒章に推薦	—	—	○

○現在、寄附を募集しているプロジェクト

プロジェクト名	事業概要
京丹後市未来創生人材プロジェクト	・地元の高校生等が地域と連携し、「やってみたい」を実現しながら地域のことを再認識し、未来を担う人材の育成を目指します。 ・未来のまちづくりにチャレンジする拠点「京丹後市未来チャレンジ交流センターroots(ルーツ)」の運営を支援する取り組みです。
京丹後市夢まち創り大学運営プロジェクト	・大学がない本市において、大学生等と地域の方と連携し、地域の課題解決やコミュニティづくり、関係人口の創出等を目指します。 ・本市を学びの場として活動する大学生の活動を支援する取り組みです。
「仕事×移住」地域人材創出プロジェクト	「特定地域づくり事業協同組合制度」を活用し、地方移住に関心のある若者の雇用環境を整え、全国のモデルとなるような取り組みに補助金を交付する取り組みです。
未利用資源活用型・民生低炭素化プロジェクト	・「2025年ゼロカーボンシティ」の実現を目指して、再生可能エネルギーと再資源化が可能な未利用資源を有効活用する事業に対し、補助金を交付する取り組みです。